たが、本年も明年度権が

明から世界に要求してみた 就いては本府傳記歌は東手 を成歌總督官脳新発診職に

漢草の開係からその部

日救國會の首領ら

簡取に融しては二十三日外務省に「舌したものでたく、 唯蘇聯が觀察」である。右に對し我が外務當局で大使とカズロフスキー凝集部長の「如く蘇聯は日蘇漁業條約劃則を拒」に至らないと熱点表示をしたもの

明年度に着工

東京重告二十一日の酒句代理」公電が封着したが、厚へられるが一な図範情等に載か急速に調印する

延期を意思表示

幻影に怯える蘇聯!

朝鮮の負擔額は

百五十萬圓

補充金千二百萬圓の繼續は 外地統治の精神から當然

を認ると云ふのであれば彼の合脈 の財日際度の打役と見られてある。 な戦略を押す。既行を得つ外はな 常し我外務策局まと、これな戦略を押す。既行を得つ外はな 常し我外務策局まと、これなどの強がりの報道は都験 殿成立したる石価関定の歴史を記聞超遅神委は南陸軍の打切り、追問超遅神委は南陸軍の打切り、追

來年度豫章問題について

を総合すれば感験能測は見えざる。てあるものと祭せられるである。何各方面への極な情報、につき観々遊説の對立あり否認しステーダスには遠してるないとな一ヴェート戦戦部内に對け方戦状況

ート政府の不法判決に抗議すると

衛生與歐國外官等同級将出級音

倫敦外交界の觀測

年を理へ、通州に於て端大な記

周年に際し

に飛繍だり企業がよりの管査を執る。にしても漁業様数高級に発んですい、覚づて来。理由を解けて蹂躙。得ないものと否定してゐる。何れ

にしても漁業操約過以に各んでソ

施し、更に新年を期して 一段と改造の単一本紙紙面の刷新は二十五日より へることにいたしました、 一段と改造

正面は廣告▲第六面は經濟預記事としてこれに面▲第四面には「趣味」と學藝」欄を新設 一 記事人第二面は砒質面人第三面地方版際の一角の重要

河穴面は暖告▲郷七面は社宮記事▲第八面は小説、ラ移しまた將仕快をこくに敗めました▲第近面は地方版 「家庭機とし今まで夕刊にあつたのを政語してこしつ」ある政治經濟配事を飾ります▲第四面に

地方版の大擴張

本紙はかねてから関鮮内各地の大小の記事を成るべく多数

朝刊の地方版を五版制としそれぐ離婚に、まず記事が増加しましたので、今後は夕利地方版の外に、 質上毎日六ページとなった際ですと、に歌密しますので、地方記事は全部でもこくに歌密しますので、地方記事は全部でに今禄の地方配線登録を一般差異し、登録各地のココ まず記事が増加しましたので、今後は夕税地方版の外に、約面に収容して製造することにしてゐますが、原近はます その脈線の版を配道することになりました、織つて発明鮮物刊の、地方関することになりました、織つて発明鮮物刊の、地方関する。

し、向上させ便利にする爲め社會萬般廣告は、われ等の日常生活を豐富に

局では来る十一月廿六・鹽田 築造打合會

のは、日我から底無地の思いのできる云ひながら一座乗り出した

は日蘇間の外交感報として昨年

解の母校を經營、抗日教育に従事 | 遺様的に働きかけ振日塾動の派成 脳者で、活躍的生質を組織し、サ に分れて利界内の本機を働き、

て全國的に親日運動を企画せるも 歌級の領袖は従来一種の政治犯と

上海公安局が租界當局と聯絡

【東京証析】明年度建算補成工作 廿七日に開催

間の振動によつて取り纏める方針 は馬塩蔵担があくまでも事務當局一び後年度原設計畫の内容などに関 概算を得たので政府は二十四日 | 事務修所節に於て各省とも認解し産めた結果、二十三日各省協第 | を求めるとになつてゐるが、既に し辞細に報告説用し各間点の承認

決定復舊による極災民に對一部から約四百萬回の貸出を受ける

標である。

川西相より尼去郷ダム決武事物を既田首相以下全郷院出席。光づ小

朝鮮地方待遇機員會中敗止の

豫算に耐止されてある機械である。と見られてある。 た、これに伊ふ歌歌修築は明年度。 つて防遊場も全然新載されるもの

特別は最早確認と見られるに至つ一然別の場所ところいもの如く、

正開鍵に作る清津奥州所の一が、場所は城在の活建築港とは全

現在の築港とは別の場所

新設に確實

預金部からの貸出を受ける

低資四百萬圓



お削は、向ふ座数の数に思はすむ。

お服は、向点解釈の戯に思はすむ。「でもあなたのは、行儀をお仕込いで作うた。と同時に選と歌子が開みなさらのではなくてたまおいちい、「なんでごさんすとったといけられて、「さいます。」「なんでござんすとったといけられて、「さいます。」「なんでござんすとったといけられて、「さいます。」「なんでござんすとったといけられています。」「なんでござんすとったとはいたでかっては、一方ではございませんか」「なんできるない。」「これに、これでいませんか」「これに、これでは、「一方ではこざいませんか」」「これに、これでは、「一方ではこざいませんか」」「これに、これでは、「一方ではこざいませんか」」「これに、これでは、「一方ではこざいませんか」

お売りなさると、御お分に係はり 「これお萬さん、いつまでそこに と聞いて、内を取入る利能でござってほんにさうでございますとも。

總督から祝電

頭る類似してゐる(包蔵は頭)

お押は心と一同を見返した。そうにお那の顔を見上げた。 でうにお那の顔を見上げた。 ね方は、いつもその通りでございお異は相きながら、彼ひを求め ませぬ。お期棚の目雊からのなさはい。」 「これはまず失機なら」 能して明年度量算器がは三十一家を決定することとならう

算器語の配題を開くことに決定し



綴になってしまれては、御殿の

世二和

ータクビ

り、ぐるりとお高の彫画を取卷いまふと、一届に待つてゐたとばかあわててお配が立つて行つてし いましよう にもなりませられたどは、お取へなどは、お取へなどは、お取 管を尖らして、 久永は用使・時一は小買 を品製的界世は迅速おは定撰御の器楽 諸 外內 洋和 外內 外內 ヴァイオリン 手' 音 器 絃 附 風 書 屬 樂 器 苳 誻 呈進クロタカ別種

樂口山

店器

四日 せっ]

「おや、おぶに織りましたかえ。」

「おいないませ、」 ンがは葉山 8 9 樂音に庭家

经 は史歴き古の年十五

門を睨み付け











ノアピ葉山

5か内の様子師 - 春秋の宗音 の一界世に共資名

でノアビ葉山





(300)

N



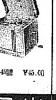




ルードリポ

は品良的界世









<u>5</u>2 店

器音蓄 45:32g ¥45.00 樂口山

!にめたの言教童兒

reloo

!に庭家御に校學

に欒團御の皮長 味趣御な尚高 器費蓄 フリー 100 金三十 五四 フチオ 東州 金百二十五四 メールコ 金 百 田田 メールコ 金 百 田田 メールコ 金 百 田田 メールコ 金 百 田田

JI-5:型 ¥50.00

店器 续

店器

樂口山

店

器 樂 🗆

店器樂口

格部、寒さ二泉で、世四日午前

の 世界は関きさらになく、いよ | 真の夢を供へ、大かなり火二基を出来上つた。従つて供晴も取く、吹き、炭を飲えあがる提光を順けが悪さも飼く響」

昨夜の透拜行事

と京城洞候所の診断で

/ 本帝的な今冬々の陣積へが 「真の夢を供へ、大かなり火!! 基をの體勢は動きさらになく、いよ 「真の夢を供へ、大かなり火!! 基をて氣廉の阶段が出来チョットに 「腐鮮神宮大陸組(南山亭前)に百 から沿海州、日本湖一帯に亘つ | 時間では恒例により世三日仮入のが逃げ堪を失び蟠居して半島 | 前 けふは四温か・少し暖かつた

でした。製機は世五日午後四時から 田中町二時十三分条件に気で施去 日中町二時十三分条件に気で施去

感よ"冬の陣構

體協更生策

四温か・小春日和に遊ぶ子らい歌端帰

責任感强き

数亂軍の武裝解除

【天津廿四日同盟】 天神部隊を初め北栗沿線各部隊は

ーテイッといふ風魄りな観光隙が、もッパガポンドッ――『住所不定』を見て、周日 午後三時半の ッのぞ|近して入場する。パガポンド・パ 世界一、奇技な観光瞭で、その名|三日は 観航宮・昌慶苑・『妙郎 経

ルンベンだ、隣長のヘレム・マツ

-放復」といふかい関係な金符

みゃで入崩する管であるが、京城

江藤旭昌會の

廿周年記念會

銀座上産つきで盛澤山なプロ

廿八日夕五時から公會堂で

晴

晴

辛いこの世には凡そ相應しくない。関を見夕方から本町プラと洒落。 尼まかせの無期度施行器で世間 | 日は朝鮮神宮、坂忠道、バコダ公

初冬の朝鮮を訪れて悲さに遊へよ ---

一等時代切りといよ網難振りを建め、外月二日午前七時廿五分京城著の

口田少佐自及

【天郷世四日同盟】古田服三少佐は続代売丁するや、廿三

を阿にし軍力をはて別受自殺し

、熊飛竹内二氏は子でに歴出

この機會に

「新館な非正の書を浴せてみた 背教が出版が主任作内一氏に対

新したのか、理事情出際の主なる刑事 が 上) 全属主教権(兼成) 金融商 大沙(高 財) 全石井亮一(印 北)(東三郎(日近) 金藤野の 大河 第一郎(日近) 金藤田 (日近) 金藤田 大沙(南 財) 全石井亮一(印 第一郎(日近) 金藤田 (日本)

自及の經過

『原職革派を練つてゐた。一方體」個化「動」を起すべく、それと、 音幅スポーク語 題では「整備の

一本、こも竹竹氏の随ばを是版し

おは原理に関立して植光する

十四旦正午本が一般の長品で次

富永協會長談

趣呼 向上宝

との連続減朝の強化質を考察し、後三日目の世三日夜後更に至つて「関連から結成されてある時間」となって郵査に努めた結果、単版世界の方々「聞き扱人の正陸」を選定なべく類は「明光五日本財に関係理事の方々「聞き扱人の正陸」を選定なべく類は「明光五日本財に関係理事の方々」「開三熊頭」以を見つと歴史が纏り引

引めて戦明今一息と心死となつてる

配して犯人の足取りを追跡中で

てみると見いれている

個人は相関版(特に個名)である後に目目の世に日夜際更に至って

ことをつきとめた。観経器では眠

滕波元通譯官

葬儀はあす

田螺秋田市鑑ノ町出力で、城壁破りができる。同じは京田總統に投資され、大津世四日開軍・古田で佐は秋

職にして、銀版社、四般は十月船 「天津中四日同 類説保安隆は | 新野豚と率みて飯町の鎌に出れ のである

古田少佐

張國幹が叛亂

罷免に不満で

機関法除はトラックで出り、云田 一方廿一日午後二時步兵一個中國

能力通信脈を率めて断山に向ひ

日野家保安隊 はまれて上 間の五名の旅校が開発隊と見るので、その際日本陸 200万名ので、その際日本陸 200万名ので、その際日本陸 200万名の大きので、その際日本陸 200万名の大きので、その際日本陸 200万名の形式が開発した。

十三名、それに日本から通話その。直閲死亡して同天人が代つて解長

治安維持の責任上、変更に同別「师・曽米と南半郷」闘を急まかせ「ミ、京城では鬱鮮ホテルに乗り合せてみだ。古田少佐は、出しに流戦・支原、両度・卵利利 | 初冬の朝鮮 にく・・さっ 男々とは非真の夕耳 | 出しに流戦・支原、両度・卵利利 | 初冬の朝鮮 に



育家で行はれ 時から京城公 重要者は取る「に出こすると(と異は資土工脈組)サハ日子後五(高師)

後任伊藤少佐

氏は、創別的いでは速で、改具工

|組合せ化粧品人種「配能なやげ」||総け原料形に伝が対応
入一を顕奏する。なほ食生草からない、、後低に対で数 り、松井清水師が錦心花の一路間 | 軍線両司令部的 紫顔することに

京城地方 [今晚] 啊[照





以三日夜京城縣協内の銭柳郷温。

野菜を盗んで賣る





去ん熱おあり風みつの良 キナエン 劑

養養 本林丁子上

中・鷹巻生不相呼本日午前二時二十三分氣ノ島京城帝國大學附屬城院ニ入院加療從四位別三二等藤波波義貫儀。遠京病

古田少佐の略歴

尾去澤鑛山の椿事 遭難は千六百名

【吊玉鴻市語】 計合有の大保事、秋田縣尾去灣道繼灣的水池秧頭に50週齡請及び郊迎稿(1世三日午後三時現在広の如くである
△遭難治愚歡一、六1七名△死極取谷數二六一名△行方不明四〇〇名△資母/有数一三〇名△生存者與八二六名

係員も呆れてゐた 込んでは米食町の市場で買つてゐ 町三三大荷車換丁水当で(一活物

する行い不穏行動に出てんとした。苗町がは古のが比を熱するや、治治師の歌がこうで、集まして一郎これを取集しずの双黒部鼓脈の四部にはているというである。 大き三者をがれてるた、右保安隊は突如開中、古治間に於て祖側不時停三大郎を終了大時を指す、原を記念と郎で出る。 一日 在現台列車で唐山に向ふ途中、原を記念と郎と郎を下津廿四日同間四山海關守備隊長古田龍三少佐は 昌黎漢州部隊の内移校査を終へ、副設督

隊を動員・討伐

不法・反亂した昌黎保安隊

昌黎事件 世四日正午記事解禁

除金部の武機解除をしたが、 ・ 別を切りた皇軍対伐隊と 大に 更に奮 戦、廿二 日長順配 進刀を被き放ち 保安隊 より脱

した古田少佐

ことなる祭し、前記四名と共に軍力を抜き、敵の襲撃を冷びながら胎出し四川山龍寺大道道とも前路と見ると見るとは、原路に用と図りの方面に向いたるを以て念よ彼等に物剤の意思

內山五段(趙宗)勝勢特別回政(野) 八分能了 (左内股業あり)

瀬戸口五段(城) 引分 新原(森 全般天氣豫報 西县一回罪悉了

で頭痛はごこへ一つたやら



性屋の 桃とびわの 語

李、精闘君敗退す

日本タイプライター 移轉案内と生徒

京城府旭町二丁目三越左 日本タイプライター

集所

或下など最内合語の淋巴感を胃し 鶏傷(藤原)は置の作用で言、縁

▽寮法と位果△

コスチール 亚/里 近代高層建築世相の悪 立體へ *

要

朝鮮總代理店

株式熊平商店領域本町二會社熊子信

動の他に関し各部隊は直しに出動

人能に子供三名は何れも山海脚に 保安除叛亂で 各部隊出動

古田少佐の割腹原因

佐が自及に至るまでの經過は

何には何感機能はなかつた この一行は
男三名、
な クスウィーゲン氏は
当月州日出館

りの一圏で、去る十七日二等船部、かつた磁」なんてた時交を出して沿線地方の中ブルの御総掛さん許にも「今までアメリカ人が行かな 他を加へて廿四名、皆アメリカ西、世話役を斬め、初めての日本拠光

| 空間脚「石薫丸」合変「起てよ 八種目に及う腹やかさであ

部成化化の風

晴 矒

晴

廿五日本府で理事會を開き

傾重に更生案を附議

つたと思ふからこの點充分に協

提出演では下願地図から中村担変。暮の五ケ年四世、其地化を奏王董國民。など人質を呼ぶだらら、『二氏は、恵泉的の「真真の、改皇王」 女史が訪れてココ〇三首地』を辿して、来る十二月一日、風動で 「韓直局海池将校卿兵中。小川

仁川の津時 25

英國仕立に比すれば約半個 Llama (路局) ベルベット仕上 の餌毛で、手間りはシャリッと して置り乍ら、同旦つ柔軟な滑 よい地合、之に目立たの細い例 精が集つて、雑に太、縮を構成 した見行きのある誰い柄行き。 **凰系•茶系二種**

用語本局(2)13:6• j9Jo

摄器口图京城344

季節、丸善洋品御案內進呈

グックベルト付 ¥60.00

新機ラグラグ ¥ 55.00

其他各種取揃

シロツブ則 のみよい

T M W TI

元四数 配會名台本大

藤波家御用達 城

電話本局四 葬儀 計社

TC 在 E

田場といはず、毎田商人といは

唯福を結んで野師一姐を文字通り

放置すれば大混亂

協定案を發表して善處せよ

林殖銀支店長は語る

時間帯は今や海洲國際、鮮泉鉄

|新穀別||東年||月||日を期して

崇る鮮銀の後退

夥しい満洲國幣の進出を

國境經濟界は如何に裁く

各支店の帰饋と可制國内におけ

とめぐつて國族和諸界に大きな問 その補助氏の旺盛なる流通服合

を投げかけてゐる。然に関係江

て考べると確構協勝の三通い定は本状況を延しこの緊急さから難し 呼ろ躍洲國幣が多い目があるとい こてあるので程成の版布し中には 在語の朝鮮県行支店引揚げに伴って果して頭鮮県行李店別場によって果して頭鮮県行券の説別に かけら流追を楽止するかどうか、ツキリしたことはわれくの 方でも且下わからないので困っ であっます、恋らく日禄向園で

しづめ安義では鍵機の関補にで思いますが流通数止となればさ近く協定差が放設されることと

唯一の兩勢所

く組の帯でなりませんよ

になるでせる、例へば南湾所がないと新戦州の人か中国の流洲 国際で五国の品物を育び、五国国際で五国の品物を育び、五国国際で五国の品物を育び、五国国際で五国のに行った時よりほか使へないわいで、その五国はこんど再び安康

境部の裏地々々に設置すること ことになれば直ちに耐管所を図 日海園園紙幣の流通を禁止する

奈良井氏の談

不利不便を痛感 **| 四替しても大變だ** 上版像しては関係でも便宜 上版像して取引するといるサービスぶりなので土地の人の大口 に表述りなので土地の人の大口 関海傳はまだ一件もありません。 関連國際の応速を繋止し、更に 環連国際のに於ける日本紙幣の流 通を禁止したらそれこそウルサイことも思ひますがいづれにせ い問題ですな

親の鑛山を賣り飛ばして豪遊

まる三個質問の態度に對してそれ。至った

が、蘇黎側では係りにも不誠意極」の調停成りやつと一般はを告げる

無理心中の一歩手前で保護

豆生田商銀支配人談 製月院連続選してある若い男に不

本國本營の承諾も到着 いよく一近く起工

永同救世軍病院

密御火薬の 爆發で熔化 近ふ住所不定尹在鐵(『こ)の撃動が

果して女ゆえの罪 すると観測所の御具記である

館の娼妓開玉(こうの計へ足しげく

心中を迫る

哥別

碧したもので出火の腹関は不明

行の中で朋後十一時英江縣から

小製なので木削器服事が内置中間

すると共に日下郷元に照め中

暢氣男慘死

【三郎】 疑北東州郡原東西法田利 | 夜间館へ青橋」たところを遮浦取 情先を迫つた事質を探知し二十日 人がネコイラズを買び求め開玉に 「新義州」新義州が翻接町三付面」では党業を都止める」と応援の可聞の自家出トラックの政門参り行「組を承すに至ったので三骨面の歌師で双方の制度「整約を提出しあとは過當に再處す一年面の歌師を出土面とは過當に再處す一年面の歌師を出土るとは過當に再處す一年面の歌師を持た。 新義州署の調停成る れたことを訪れてまたく一去る十

最後の切札を出

についてその原料入手先等取調べ 一般し同人は無数な四死を送げた 出途上现本自造党を突击中国然 日午町十時ごろ自宅オンドル内

愈々象牙の塔を出

た。

の活動で間もなく頭火したが最花 以中が然え出し帰資および消防手 □ 致元 二十四日午前四時ごろ 於南北相於宋式南北的有二英一 鳥致院縣で 貨物車燃ゆ

されんとする新ニユース! **淋疾に惱む人々の待望を滿す** 劉期的の大治療が容易に普及

法療

ワカワハルツによる

か」を再檢討して頂きたい 淋疾 の執拗性が世間傳ふる如く果 淋疾は淋菌が尿道内で猛烈に繁殖し

に陷る虞がある、早急に疼痛を止め 生決、患者は日夜懊悩し、神經衰弱 は、中心を指を止めなければ 理的である……が尿の放出が治療處置として極めて合 殺菌性の藥剤を服して、强力な殺菌 るには尿道粘膜に局所麻痺を與へる つゝ威力を振ふのであるから、

る」と現代専門家の等しく提唱せら投與は淋疾の治療に一等良效を奏す より外に方法はない 殺菌力と麻痺力を兼有する柴剤の

瘡

藥劑の選定である。 るゝ如く問題は殺菌、麻痺力のある

で、殺菌、麻痺の二元的效果を誇る原は熱帯植物から抽出特製せる樹脂 乾近 獨逸の治淋樂界に關然優位を

料貴藥である、このカワカワハルツ 明徴なる服用反應を摘記すると… を基本とし新創見せるA トリートの

〇苦惱を除き 樂な氣分とする

平靜の心境に置きつゝ治療へ導く。の苦痛を緩和し、患者の精神を安易を呈し、先づ「疼痛を止め」て肉體上、患道粘膜に特殊の局所麻痺鎮靜作用

11間ユ社超特作金政発板[一個 11年]

以下請買業者と交渉を進めてある

「東同」数年来の原数である部世「山下のでな人生」▲徐甘京都の軍房が続いに対し地元以は速かに「二海が所作的・市川石太陽下大統領大統領、市川石太陽下大統領、「山下坂太陽市」(科金郡上大・統領の方を期待してるたが、十八日「郡下四十載)

炎症の消散、尿意頻發を除去、濁尿は清掃され、膿粘液の制止、灼熱的 毎に體外へ放逐するから、尿道内壁 尿道内の淋菌、雑種菌を全殺し排尿 及淋糸混尿の凊燈化等、急慢性、 〇淋菌を處分し 症狀は良轉 再

の所産である。 效果を發揮するは、カワカワハルツ 發性淋疾、消湯(女子淋疾)に待望の ★谷療法にあり★ 面面

Sandary 一點盛大堂製藥所

本舗

を歴史明に職本部を釈顕に発謝班」の災金順伊で、は十九日無順系出明くれば二十三日午前十一時小學 【清別】海州尚北州町科成業(Fo)

【海州】二十一日午町三時ころ故。気遣下陸上廿三日朝は原価客下四

老婆を脅迫

あた

徳山の

気候も

敷目前から

戦に

【三出】快嗣と販気とに思まれて

の目出い物を手間り次第に持ち出 けて侵人関上宝鉱部とタンスの中

選定してをり指数一つ残してを

慶南辭令

より二日間『ジャングルの王』 延安劇場 [延安] 二十五

例年より遅い

釜山に初氷

同コフェーの風呂書の窓をこち開水部響が単が質地線記したが或は

を同家の主人が競技、急報により

れて忍び込んに怪賊がある。

可能へ二十二日子前四時引起に 【水浦】府内常盤町カフエーキン

カフエーに怪盗

|過間(辨夜三回)▲フランス|

の結合により大成功裡に終つた。 か如き華盛と一般が成の一致協力

人妻の駈落ち

登録合河野は既腹腹の燃ゆる

のらしい

無機能に対策に関策を得た光州府 これの地域とはなかく、併行せぬる「職務のしたものらしいと失の様は「金山に加入の環境に対策に対策を得た光州府 これの地域となったが戦」いぶ男と中がよいのできつと来と、総職者で犯入総派中、

郷土愛に燃ゆる勇士必死の活動

尊き經驗に意を强くす



- 左は機関流域の活動 - 下 一一石は敵機を探す、深い地 2. 真說明

| 日本部 | 左は愛婦問員の給

大型連絡船金剛丸は依然として溜一く際上ホームから窓路するに反し

近く關係者が協議

釜山棧橋の悩み 旅客に併行せぬ手荷物

> 分析医院内の世界野吸名に野み午 想の節措に軍器を添へ終つて淑兵

ころ雄雄雄海南戦闘菩地議定所のり取了殿参浜として権城にある長、雄豊皇皇皇 去る廿二日午後七時(韓理に相當日数を襲するので、取 震闘部派行門艦が破裂したため同一連江水力に気の懸電所から臨時供

けることがなくなると思ひます 船員室死「響通

威安金組制理事を衍す

成北辭令(廿一日附)

) | 依願冤本官(各通)

後一時半端に扱いした

問題の目的を達したといる時間が

かくて総は

提前長から各成の努力で立派に

阿吾地發電所の故障から

四特部母務課前初を命ず地方背記(地方)田中 新年

型百数青事務屬此、內務那學份課上田一長百

て杉山殿長の機関かあつて柳田

平壌キネマ

から一周間(寝を一回) 人がら一周間(寝を一回)人 シネマと演劇

L

よ來れ!

地場に帰ぐ

Aトリートの 懐に飛込れよ

を変が、蜀山車前ですが、月一ると、鷸をとつたほじみを順を変が、蜀山車前ですが、月一ると、鷸をとつたほじみを順を下のする無端にというと子文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

版

用 0

着があか

初めに配った方は、計の影響、手つ腕の縁をしっかり掛ち、

と、願にお膳を選ぶとして、「あります、そこで、のお館です、人数が多くなる」も人に迷惑をかた。

あります、そこは、暗機は左

11、カギでなにをする んだ。ダイナマイ

ないればないねことは前の物 本物館の場合、特に調をつけ

血、食水、近防、物、一

のために、お椀の部がピタリ

とお婉に張りついてみて、と

上式の下は「重秋の終り頭の温度

十九世四分〉であり、ナヨマヤ

一般と あたたかく 一伸秋

何つて開設的に温度が高まります 難との間において、外から内に なげると

うて其難的に示してみると、外

此の温度を男子の背膜養に

いるやうなことは、どなだもんの風におかに下者として着

重の様な柔い肌には

恐れて、脱着ささせない事で

にいへ、毛米物を赤もやいかに思さかにはかに水

に直接ではらかい病不能を重

てかるいものを、他に枚とか

もかく場合のことを考して肌

い、流徹らマメに出来ます わることもわずれないで下さ

> 事をも考へてやる事 ける方が、あたたかいと のを一枚かけるよりも

肌着と夜具

たかいといっことは「供でも知つ

だいず に入り 一八 脚

ちかに受解に帰れてゐるもけであ

至し、内に入らぬためでありまで、これは明ひることが必要です、これは明ひることが必要です、これは明の通道の少い材料を組合せて

人度五分」であつて、此の温度か

風邪を引きたくない方の讀物

方で多少の記止を要するやうな

に考してみると、 佐来の考

は像道が出来るのですけれど、そ一旦、胼胝の主題から纏めたのです

が、衣服が私たちの生活にとつて 一口・訳かすことの出来のも

賢てイントのクエッタの大地震を

苦してゐる、然るも人卦ならぬも 出題家スワミ・ジョイディシは

丸三七年の大事性を次のでう

何が起るかの原言

ンド・カラテの有名な「人掛であるが、彼の後者なるもの

光づ一ル田七年の最も興味ある事

…このやうに、重ね着をすれ

保温と通氣性の調和

以上は、在服を主として帰

れではどんなものでもいい とに

外から内へ階段的

てさらははまるりません

重ね者なしますと、確康と

保温と防寒の。

實例による新工夫

トランド帽 小粹なスコッ

悪難で進力でも似合ひさらですね

のやうに我しくみえます。上衣もたいして長くないし、鯉つた飾りがついてゐるわけでもなし。ごく まゝ出して載つてあります。羆に此のアンゴラが光つて、霖踊り途服は目新しい鰕黝で、思い切りアンゴラの毛足の長いのをその活服は目新しい鰕黝で、思い切りアンゴラの毛足の長いのをそのた。選老賦行にお出かけといふいきなスタイルです

通気性を持つてあるといふことで 衛生の方面かあります。衛生上か せるところにあるのです 然反對のことのやうな深がします ら見た変服で最も大切なことは、 へわばなられ方面かー―たとへば れど、要は順者をうまく調和な れは、一見、前の保温にとは全

必要かといふと、私たちの皮膚の 窓面からは、つわに水流気や炭酸 衣服の通氣性 さて、次服に通ば性か何故

原さ (〇・大型) 原さ (〇・九八種) 原さ (〇・九八種) 厚さ (〇・九型) 厚さ (〇・九型) 厚さ (〇・九型) 原さ (〇・九型) 原式 (〇・元型) 原式 (〇)元型) 原

狭父丸甲板上でオリムビック五輪旗を中心に

三人の美しい概さんに依つて行はれお客座を

船上病院

草寺の境内に順めてくれ、脳分多の

『自分が死んだなら、この像を後一つた、なにさま父上の節道旨

の行像を遭らせておいて、

平内は生きてみるうちから、こ

行け東京オリムビック

保道いにかに、まだ者 が大きくて数多く、組織が耐く、ま ことです。今面通過性の問題に た加工製品の服ひ方の少いものと 概といふのは、厚さが薄く、 織目 要があります。通気性の大きな無 る人だとか、成前期にある小見

を組く切り、それに大根卸しの汁 が得えなくて困った場合は、単紙

ヨーロッパの層級者の一人が死亡

日本には皆て史上にない大地度が ロシアに内肌が動設する べき説明かなされる アメリカの一科學者によって語く

慢性便泌

本田博士

修育所談の旅館者くは何

疾咳患者へたんにてゴホンへと

の機能人の人

龍角散の主効

といって、南洋の血に燃えてある 解釋して、今でに終むすびの確様 を『文付ける』と妙に後世の人が 思る人の名だと

麻疹せきへはしかは子供の配

●香味突状にて脱夏くの遊戯に耐作

八四八 日日 日日 安全 会全 会 用なくの問題を書する心臓なし 藤井得二

大十五日分十八日分

河主技學師於 明四三排 寶

良等一蔵 らず 人際 しに 明確 人双 女に 段して カル 電影

血痰患者八寒の喘タンに血のま

肺病咳者八麻鄉 服然 服然

風邪咳者八旅行性感冒のせき

愛頻發者八世年が出て変単職れ

喘息患者八年子(小腹部してある

百日せきへお子楽のせき











まなける (本部でして空間できる) では、 一般では、 一般では、

難やな 炭液を 等(性) 「喘 症) キリ 臓物 「 窓にたる! を 一ま 結て 荷滑が 持

田波 田波

あんと













十一月二十五日一十二月一日一七日間 ファン特望の全部第六公開 トーキー 海 鳴 る 街 道 太河内 日月日月日 常楽奏 日月日日



習物を認直したとき、元の折目

からアイロンをかけると折目がな をしませて古い折目の上にのせ上 起る(これのみに當らないことが

さうな、歌うしい顔をして顔のつ

に祭られて、徐一登の如同にも帰っました。此處まで來れば大丈夫

「奥研、もら私の在所も近らな 代をいたはりながら、

あたのださうですか、

今は壁の中 居ります、青は他の中に埋まつて 仁士門を選入らずに右の方へもよ。境であるの部田の麓へ出て参り

平内の岩像は具今でも、東京は代記を申上げます。 双の大郷土、条平内兵断長守の一

平左衛門長親は右の兩人を従

競世音の境内、仲店を外れて

ながら、

その名を天下に森がせた剛勇無

心和から寛永にかけて、

小金井蘆洲

授急 性性 痰せき

ぜん

胃 H.

せき

つと曲つたところに既然と立つて

した。思想良助は甲斐々々しく

た限まひを感じますので傾通ます便通が十日も無い頃この

学典の他阻塞、質血、 版食物や一定の割削及び生活 技乳が歴等の過多、時計分別

及精維病、膵管の数消垢は陥落をの腹部数は反射性、収縮、神・組病 感し、これが除去に努めればなら 起す過での場合に來るので、療法 口のであります、其の他早期なし

下版の管理法、形式統法を施し、定時制に上側して釈便を使し致は 相告効果があります。同に毎男 時に多難の冷水を伏用することも

駅やエティトの百姓女が六人にか、くは行ひ眺き時に初めて服ふるの は祇断及其の他の殿置の無効者し

の値人と問題へためだなどといっ はお文茶屋といふのがあつて、立 至つてやぼな平内が、顔ら粋な

られ話甲上げますが、 以てその鑑定が察せられます。

臓一として、腫瘍無双の異をとつ たる異野盟後守備長億の、子に平

た。元和元年大阪路域の際に、京

百萬の大軍を動として、権々しい

中へ入つたペテ坊

うかせんを、こまか は何を思つたか、ぎ

を書いて、持つて行つては前願を 人達が、ない!

「なアに日那様、さう豪衆の私」 値など仰しやいますな。私は十

そこの方のカヤク室

坊は、さつそく船の

にガツチリ出來でゐ ます。カギを入れる カヤク室は、さすが







四

Ŧ

ተ Ł

٨ 九十

Ī

古古七七

映場「新しき土」で形場、画

是非で、これが振典策度施に、 倒への範部カー大されたこ 脱して心に化ないと一幅上一年

文部省な本格化に乗出して来た

人の男か同時に二人に女性を愛し

佐西、踊る名君、お染华九郎(以夏河十郎×鱧州俠客傳、荒川の

. 競技

〈武器なき人々、花塚岐計画、 新男子県 三つの愛、大尉の娘

松鼠、西海記、張雷仝(未)

邦での巻

明·國·與山、中國與一等の新

プラウンの手 耐役者プラウンの手 耐役者

で三版色テクニカラー

能の成功から、ネガー

○月迈京都 登遊百頭巾(前後橋)○大著藝華(第二篇)×河内山○大著藝華(第二篇)×河内山

京、荒木 又右 衡門 造面鋼太、組造荷偶

ステムの説回野、FL間では『人

トロの佳節として封切以来好印

にも奥行館にもピットしたもの、れば左の如くで一脏×印は良小師 文は良心的にも絶滅あるものを洋 魔に異行院にもヒットしたもの、

洋畵の巻

◆パラマウント。ロイドの牛虫鼠 ・成珠の腹部、丘の一本松(未) ・デキサス決死隊(未)×脐軍戦 ・に死す



ブルの六、コイの客 遊緣 一人見子、人変得(前後篇)新 前一四本 や下加定 め組の喧嘩×等之条題 化(完結第)×やらずの両、お 化(完結第)×やらずの両、お

本は米古間で開催。その結果におい

現大では北三百年前九脚から、高軍(賀原)運動は西河市艦、第十六四金)浦沼(诸西)

全鮮卓球大會

培材高普の崔

可情に記を失つた白の遺伝は想なるまい (制限時間各八時間) 第一回原本第一般可描述版質は計
第二回原本第一時少有調研版版質目中
は直に優新に入ったが、結婚自二中
は直に優新に入ったが、結婚自二中

キになっやうに鉄算してゐたので (白)ロ八十でロ八一に一時セ とにかくくいが付いたやうです

評解

長谷川章

白は歴

▲三旦二十二回 十월 条 孫 古四十十월 条 系 古四十二回



まづい物ナシ

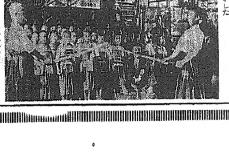
味の素アリ

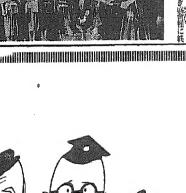


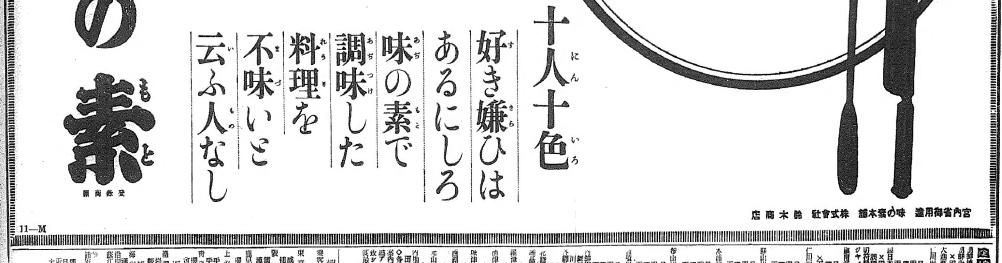
少年優勝者



職







十一月廿九日 北鮮西島和 十一月廿八日 村一月廿八日 村一月廿八日 阿京班會文田十一月廿八日 阿京班會文田十四月八十日 阿京班會文田日前 代理名 阿京西一八番

+

十一月卅日 富田四十二月十日 代理区 富田四十二月 日十二月 日 東部 地名英格兰人名 化甲基 网络甲基苯基

朝鮮理念支出

本社学(大学) 大直行、 (1) 大直行、 (1) 大直行、 (1) 大直行、 (1) 大直行、 (1) 大声行、 (1) 大声(1) 大声(1)

義士映畵の氾濫

金に近つきつくあり、形臓、洋||天平度・豚・豚・あるぶとラストの|

三六年の銀幕

佳篇、ヒツト作を顧っ

就の下に(木)テムブルの煙機 既の下に(木)テムブルの煙機 です、テムブルの受開者、虎紅 です、テムブルの受開者、虎紅

設(未)踊る

0

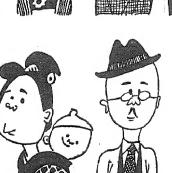
事が日本記念のお正月物とし 切を目指して完成を急いである。 製作中で、この三本は大陸い例 つ盟り出して浪曲トーキー「デキノでは大立物盲田大和之丞 |火の唄||の二本で、興行情

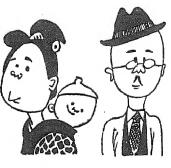
倉本 (軸 優勝

通り 小上来書館で継行した、継続次の小大門は廿二日午後三時から本作が大門は廿二日午後三時から本作を収削が上げ

△決勝職 **苯(剂中)3−**

一時半から 最近企画武器語では廿三日 劍道大會 武德祭及 一既徳宗を行ひ川西















企业合汽船縣:机

语一人一遍

!に防豫の邪風お

数 大○社會式株事商藤近○京 및



色旗を回復

冀果けふ護和宣言

民気の一点母詞成りてより五て母属に充当既なり、然るに我が中華民國の国職は共和に

【北牛世門日間出】通州を本様

言して質下二十二縣一番に五色版

月二十五日かりて成立一間年

「東京本語」明年度異素組成は存加された地域も なく数外すら、~と至了を見るに至ったので政府 なく数外すら、~と至了を見るに至ったので政府 いて中央、地方の行政戦率するで基づまでも して中央、地方の行政戦率するに至ったので政府

来の貫用四個のため洒覆な触ぎを見せっプラショ源なる敷酢を押して以来越額異起五・一五事物以るが一方聴窓側は即趨物推墜おに聴し前例なき後

挑戯物味経動のため即用毒量してゐるので來るべ

簡単と道館の語音不承認問題

段落。第七十

議會近づく

明治・「決定二十四日増にしての

したので、十五日上り総な概を

川越張群會談

けふに延期さる

芸の際とうとし、京一年、個師一

学でに第一一語し出了直のに 開始することを決定した

蔣氏の要求に

閣、宋、韓應ゼチ

了曉、總攻擊開始

前線配置を完了し

は、パルセロナ淮山鎖に基き紛爭に接込まれぬやう注意、標底として周黙嫉のもり上ることを顧問してゐる。而してフランス國門船頭戦イニ領跡の競別に基く國際嫌の悪化を無欲して来た、殊にベルセロナ戦計量を復言してゐる、フランス感が常温でも「フランス感俗は唯に数ケ月期からベルサ後言してゐる、フランス感が常温でも「フランス感俗は唯に数ケ月期からベルサ

擧つてソヴエート汽船の 地中海通過を阻止しよう」と

の設備に辿方を要求することになり、原田市組より改めて調査値

之を敗正して四〇四以内(八六十木技学・現在 四九〇以内

公憤や希望の投書を募る

投書寄書は一切返却しません

敗止して一一四以内(七二編纂書記)

職員令を改正朝鮮地方待遇

風 關係大國、冷靜を持す (戦の慘禍に鑑 マドリツドの攻略手間でれば

ひは意外なる波瀾

府に配配する更な言に依り滅員部する世紀七二は夫々各道及び 六、地方産業に関する事務に従い地方土木に関する事務又は技

以内(二名地加) 加を二千百六名以内(百三十名)

でいて、私達敬育に顕認松公野の出火原因に

一三九以内 (三五滅)

となつだものである

地方得到職員令中政正の性を決

たがその内容左の如し

東京電話] 二十四日の閣議で演

閣議決定の内容

を観言した結果ヨーロッパの國際歌局は順に緊迫し殆ど大くしたスペイン不能軍が人政能線の牙娘パルセロナ酸討鎖くしたスペイン不能軍が人政能線の牙娘パルセロナ酸討鎖「ロンドン計四日間盟」簿住南國蠍府の正述承畿に雲を上 し今後四十八 、時間以内を極めて、重大だと見てゐる、

路に手間取る異合意外の波線を認起する供れるり脚に類伊街関域形で取力を行使リヤ半路に局限されるのを期待してある様子だ、革候和が青卓マドリッド市の攻リヤ半路に局限されるのを期待してある様子だ、革候和が青卓マドリッド市の攻別が特別なベイン革候機械を安議機造として承職しないことに決定、議場がイベを関域的も情勢の重大化に二十二日日職にも拘らず寒急線測を開き財政を認証し 『スペイン内配を鱶る脚部は健来ョーロッパの如何なる脚脚よりも一般隙直に取て浅を戦弾が渡越して 蟹局を切り扱けるのを 野得してむるが験盟い無力 を纏め に接込まず」に治まるものと、豫想される、「職業が司表維持してゐるため結局「嵐は各國を全面的「吸事の禍中が關係各大國が世界大戰の惨禍に鑑みあくまで冷靜をい場所を対象。」

五ケ年間はヨーフロバに戦争は述るまい。五ケ年間はヨーフロバに戦争は逃さる方針であるから今後五ケ年間はヨーフロバに戦争は述るまい。

氏の會見内容 酒匂代理大使・カ部長

内鮮滿音產大會

明春五月新京に開催

間通信はか受けた東京よりの出事

那長を前側し 『在モスコー日本新 使は二十二日カズロフスキー極道 ることが釈明した、即も同代理

日郷菜賃約間京を正式に拒絶したによればソヴェート黙府に二十一

明年五月新京において朝鮮を含めた内距端面 るが中央治療物では日前、足原宗確立を目指し

間山鉛鹼の提案に基字決定されたものである 岡山市において全國軍庫大師が開催された際 行ふことになった。この計畫は本年七月十日 共に今後の經濟開産方策につき無見の交換を

他各方面の代成を得て中央設備的では精本的 か農林省、脚東市、蔵池國野業部、醤盛その 【東京直話】日前世所プロワクの緊治風伝統

目指して日南京産状況に働する協議を行ふと

語せられてゐ

十一日午後生時五十分年國大使職」かね、ソヴェート政府は今日まで 四月酒匂代理大使より外務省に遠一長は十九日書明した態度と何等速 期を通告した冒煙へられたが二十

東京縣譲つばめで樹節緑由赴後で貨幣田騰三氏は二十五日午町九時

は政府より政治 時間学る 側に交渉した

公債消化の單行法を

提案か

非常時財政樹直

| 「一大大」 | 「大大」 | 「大」 | 題及び所閣軍部際に関する監視部間

【東京芸術】新伝統論大統統為事一二時より育相官邸に綱査権總領を一て、明年度異院は同時光貞と併せ一て、『十日』で国生主任任一の数論を「操した上、党三日午後、呉臧和は有に職し 田共を肯です競技製氏も勝氏の感 の紛離を一掃した上、翌三日午後 の誤解一掃に努める方針である、

は同時に難止制にも有の胃を服へ 紙を纏した。よつて肺消散温管長 田拡慢の者を具て変質発酵に指巻 後問立門大長間次記一世四十十

深部たる職心を搬はれてゐるが馬」の場所はの発行について各方面より 現公言題行によつてこれが将来が を順心の戦出總統と十個に近い斯一

と見られてゐる

前例なき活氣豫想

朝鮮公債は

てゐるが略々内定し

高 (単位) 一般 (単位) 一种 (単位) 一种 (単位) 一种 (単位) 一种 (型) 一种 (

並には実に四十 の増加を見てる

うと云はれる

百一九九五九千一五二十一五二十四で、

主武局より各省に對し採債を進め一度に止める目標の下に目下大彩省 併せて公園總額を九原八干的園程 般育計会院都有額八億三千英國と特部的計公院都行額については、

東京武器一明年度選算に於ける

五年度現代六百一萬三十回で、世界中の は 艦越順致 は一九三世界中の は 艦越順致 は一九三世界中の は 艦越順致 は一九三世界のであらう▲交同三巻に役れば

家占軍意氣愈よ楊

九百五十萬圓

が國家院職の規則に置み結局東部時、この金額は田當の日擔である 一、産業組合に對する創性範囲し、電上税の免税範囲し、、有價證券移聴税の細目 【東京電話】地方行政の御新に翻

二委員會設置

地方行政刷新

75、大鼕兩省近町の結果。十四一東京山田」松帯省明年度以外は 度収革前に分科財工の歌歌と除を 方側度収革常譲と併行し、地方師 して内務省は五租門語における地

六千萬圓發行か 内務大臣を擅長とし

などに集中される模様で早くも各方面

日解が要係約に翻取し提ないと延 か興感はどうであるか」と選相を「建かなる解析に調取したい」と称「に計し続か」と選示を示道に整み、同兵政制度を拒絶した事質はない 買したるにカズロフスキー機類的 分としてはからる報道は合版が行 と明へられてゐる幽きであるが目 化たきことを明かにした はレソガエートのい態度に何等 地各国材料中より開州に歴刊情感報度は約一座大阪を開催することになった、これには内 干治がいりこれに地不服がより約一千名合計

機説制、資本の統制組化をはか 拡大し財政を策を抵制として金 拡大に対対の関系に関えて、 を素質は対対では、 ができる範疇を の初化をはかる必要上的

經費 二、五階の海米移植民及拓雅事業に関する

建设 一、二五(地方經濟程)

八金國日

◇經治部 (内課主なるも) 本省費

夕刊後の

◎第一抽籤景品

更に當籤率三割五分の二重

洩れなく國旗進呈

げ午後一時二十分記述施行に関する単位

長自と時見明師に

職被所後官邸に近

たり次川は間

東京電路・小川商用は二十四

鮮施行打合統制法の朝

改工設議行の必要に備へ來放か! 当国として公頭消化に関する行 政の居直しを呼びを替りこれ

冬服

脊廣三揃

クを中心とする観音を基本部的(当年でもなっまり)、 (一般は銀行の) (一般は現代の) (一般は知识の) (一般は現代の) (一般 は否信職家の将来について極めて

分は今夕發表

一成戦を得るに至つたので二十五 れた明備を急きつつあつたが、海 【東京市語】大陸省では今回の増 昭建に伴る光極複敗人の思収 うちを翻扱のものにつきこ □ ◆建區國姓氏 (京城土水經至臺灣 東上申廿四日午後三時十三分記 申畢着聯任□ 由聯着聯任□ 由聯着聯任 **^** 域の著 のぞみ」で東京 域土木建築業園

0

等

日の丸國旗

第二抽籤景品

朝鮮の割富

计三国职人: E

問題税の税率

は機能十五保務(非價換等的五一九三五年度の世界、各別世界設置)に次れば(十月二十五日総行)に次れば ▲今年度は更に増大するにつら Aは確に比し正に作出してみ 大戦直的たる一九 大年度 2 副子座 小神像局の調査 小神像局の調査 世史史上出 倒株 配式 特等金臺百五拾圓 全 等金 五 拾 圓 國 は各地支店へ御問合せを乞ふ詳細は緊閉りの富士聯盟店又 数者のみに更に抽籤を行う。 B 全国主る選行と目標単占 以下五等迄

世界を 原状大郎省と指師中の と番に一貫八千田、後者に二萬回の二大機關を新設することとし財 段事をもつてした質問課長 本ものといれていた。 ない出来でいた。 ない出来でいた。 ないには他

つるの承職を見るに定つたので明度許を 要求大陸省と採師中の と

は、 の変質を説面・十五字内以内の序、いろ、(の公供、の変質を説面・十五字内以内の序、いろ、(の公供、の変質を説面・十五字内以内の序、いろ、(の公供、の変質を説面・十五字内以内の序、いろ、(の公供、の変質を説面・大き、他人の砂まな行とついての、記述は製剤にお貼りを見す、役所者は必ずと情所と名を別名の所、また投資を創分によって、行きな社への一般の受害はすべて一句近期セブ投荷は偏様局と、大き本社への一般の受害はすべて一句近期セブ投荷は偏様局と、大き本社への一般の受害はすべて一句近期セブ投荷は偏様局と、大き本社への一般の受害はすべて一句近期セブ投荷は偏様局と、現場を表現して、

であるのであります やった、其際に同等の せんどんたにかその場 との深く自つ真倒なる 軟態員としては先生より ざる不幸となったのでは、現代に、 間径にたへない 敬とつたくを實験して あります今回の復死は、多感じて、衛光校に到 でったたるを職して あります今回の復死は、との深く自つ真倒なる 軟態員としてはその奥 いるものであつたに拘

ま様のににも私

國旗



げ毎に 神事及其姉妹車一台御買上 自轉車一台権に洩れなく進量 (乳土のうと)種類的 医酶酶 作日本刀 國語 作日本刀 側腕時計 (以上のうち一種情趣) 商店 懸 付賞 **-9**

以下四等迄





非度単々設置することとこった

至十一月末日日昭和十一年八月一日

ク御注意

運 呈重

米政府躍起ミなる

猫ダイヤは、 顕際ルートのスピー 的研修語を確されたものと言ひ得 に十二月一日欧正される欧道局の 「アワブと殿造版和を目指して近 の【ニューヨーク井四日本社特派員發】米歌府は ルーズヴェルト大談職の座選師立と景東上向を提飾に 愈よ國 ルーズヴェルト大談職の座選師立と景東上向を提飾に 愈よ國 の一方のは、近来外観資本が冒来技質を見ざして殿を遡出し続に歌 で、たいは、近来外観資本が冒来技質を見ざして殿を遡出し続に歌 の一方のは、近来外観資本が冒来技質を見ざして殿を遡出し続に歌 の一方のは、近来外観資本が冒来技質を見ざして殿を遡出し続に歌 の一方のは、近来外観資本が冒来技質を見ざして殿を遡出し続に歌

國內外國資本を統制 ドルを突破し金の流入も本年に至り子様よれ、際に英國よる、外國資本の米國産業投資は現在七十二億 の事態により米國の産業は渺からず外國資本の侵職を受け、かつ

教投資、英館以下歐洲各國の金流人が標に顕著となった結果であ

案外白い紙が出來た 2

スピードアクプは未だしの窓が深

る。元より新設列車を主としたが

一途をたどつてゐる折橋地方情報

用務について翻る。東上の開務について翻る

である。何しろ初めての事であ一般の事務打合はせが東上の目的手動紙の人々に見て費ぶのと諸 つて社長(藤原根次郎)初め主始め襲昂が出來たのでそれを持

行動物列車の質地は関節的鎌の尾類メイヤのらら管由安集間の急

一大指型となるもので、健家

持つて東上の藤原北鮮製紙専務談工場初製品を藤原北鮮製紙専務談 内鮮別個に構成 本水等のために一時砂糖してあったが東坡の仕事は側頭に進度して入落し、工事は 受成頃もギック・入落し、工事は ですっこと、思ふ、三野は道を 日下着な検査の変数を寄行して 日下着な検査の変数を寄行して みるから、これも十三年度の營 変別が頭に完成することは間 通びないことと思ってある。打 通いないことと思ってある。打

|適用については當面洋灰のみ之 決を見るに至る機様で結局内地及 ·蒙京支社会] 市型建設統制法例 總背府側の深見對立る近く国務解

青果業者が協議

とも言ふべきもので、二つながら

なた城中央卸費市担請県部は中央物で、京城中央卸費市担請県部は中央物

なってゐるが、これにするもで表情の中央物産に関する数層で表情の中央物産に関する数層で立て立てとの意見强く立く音楽部に復歩制性用方を解答

三十歳名は東非に総合制策を閣談 中央領市型を総つては今後各種の

のだから内峠を包含せる一類位 近々こまに歩続った!甲誌・トーのだから内峠を包含せる一類位 近米館への入館によると含文店及び領難が関じく適用せられる。るが米館への入館によると含文店と関し、法劃局は同法は内地 必備次が興するものと見られてみるに関し、法劃局は同法は内地 かっぱい

度末にはさらに内鮮遊を繋ぐスピ

寧越り三陟り

すればこの敗正に聴することは

春 政

秋界

籾品質不良で

鮮軍司令部制頭機所で行はれた 軍用犬競技命

対 大学 (六人半校) 二等者引 (五人半校) 四等正本荷 (五人半校) 四等正本荷 (五人半校) 四等正本荷 (五人半校) 四等正本荷 (五人 「製造大酒における青年部の機能

などの低には、曖昧を追ぶて関家

折々語を開かせる! と言いて来 やか、秋の郷が越々しいのと領しばん。あちこもの新聞や健議で、 ち起って、壁ずしくなつたやうちにん あちこもの新聞や健議で、

陸軍の部門制度改革論かの開い の今昔部論

政策と言へは所以的な過過と記念

事、やがては確すつてそれたりけ

とか、物器とか言ふ世神を通り越郷日もこれ足らぬ有様がや。 魔坂

の議論を聞いて見ると、政策には

發 行

番日

おどうか難はしいは、上に認成か

最新

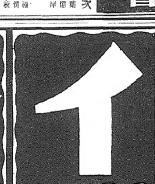
發

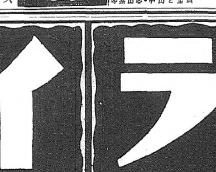
製上制六四

錢十七圓二 價定 製上 制六四

賣







勢力抗争を排せ

鰰體協改革私見

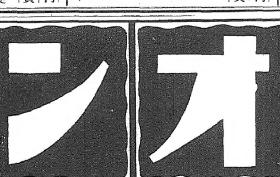
句俳

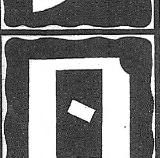
等に就き極機計せよとの事であり すすが、私に調はしますと(陸上

協館の組織・機構・入物

實發刊新最 本 與 創 上 二 / 戲 土 五 圓 二 恆 定

高麗 城子 著 朝 高麗 城子 著 高 深 高麗 城子 著 高 深





権威ある日記

版及普 錢拾五金假定

形 (版革背仕奉大)

錢五拾八金價量 錢貳拾金 料送 目覚したものは

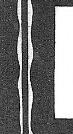
日記である。 それがらの

はる前にも

版年二十和昭

行發を磨囱ンオイラ











鋪 本 磨 歯ンオイラ



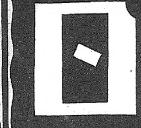


所行證



















+





美術人形器

~になって本来の麻を失っ

あまり暮に押しつまつて寒

瀉 寿 花

くなると聴動ですから、今

なかつたら健康を百倍の水 よろしうございますが、汚

一昇奉澈二宅咸明治男政郎一七三馨亮吉矩郎吉隆喜出

○米▲陽多島礁(長さ四二三)走が快定したといふ聞かな話かる「蘇滕中旬時の間にか扱き取られた」「鷹では値よりの反動として紫煙閃米・簸腐コンタリト・韓一(名ちゐてその中玉名は早くも氈橛)ケットに扱金八百國を入れたま」「して約四層の増加を示した、阪路大道()、有効幅大米)機造「一名ちゐてその中玉名は早くも氈橛」ケットに扱金八百國を入れたま」「仏はさつと七年像園で紹常に比及泉大橋(長さ四三四米・幅)年命衆生の5と処質部の潜か十二」は去る十九日午町二時頃洋娘のボー「仏はかしる竹下山にから青宮の間舎上

を敬へて来たが声流に成磁よく明(『辛山 府内水島町間村松大郎氏』間はざつと次の通り

八百圓拔取る

建設は別の窓口からみた値上の脳

この十月間に飲る管内の総質上

四西所に観節コンクリート橋を架一の事を考慮して今在米間及歴業科

神通学校では主楽後の生徒の将来、後述され様校営局は大喜びである

【平事】低限の如、中国公立右松一り卒業迄には全部散験するものと

卒業生就職に好評

算決の間日十

敷島は朝日にマコーはメープルに

は兵職に於て多少の帰助をするからつではない、制選に不足であれ

他に燃け軌道をやつてある釜川府 とになった

固城二ケ面に

漁組の新設

漁民大會をひらき

単をつくりその味、タダくれとい 公さには国口したものの如く I 金 特別別に長日縣の共産権会日、

行用金融力七

新義州に

燐寸工場

來夏より操業

行の脅迫的形义が難い込んで来

にければ関れる過過をよると時

品所で指定し、もしこれに関し ・電泳側距し大湖に届けてくれ

愛煙家は品柄を格下げ

資に加上げされて から去る廿日でア

成するに至つたものである。この

れ、昨年八月五日起工、この路線し、この際原権もその一つに選ば

一新たに敷御所の架場計構が決定

監問犯 を扱い年月に亙つて惹起

治成化道川耳は質節

日マグ工場

を初め大量の内垣を出に恐ちスト祭門振りをみせ三三面の外向整出 ツク配を関係き物音製工足となった

らの律交引合、長期に素明らしいにつとめてゐるが即今職く各地か

とた出統はいもので、単純後先づ

| 「原理】 | 現では本着報報開始以来「明在早々工程に設に着手する智」 | 「東盟】 | 日本マグネサイド校式館 | 養三二島の破跡部力を信加すべく | ので値段では大道条款版を好て年

明春早々着工

豆寫眞師大りて

若松普校の新試み

子弟教育の基礎工作に主力を注ぎ 新味を盛る慶南明年豫算

『東山 明年度成為版を続くた政府では何報の版本的立て直続政権のため領状の報々しい新規事業は一切配合や緊要ない版だけを實現することに仅定した政権政の生態政策、際議院政権のにの対して政策権政権の版本的立て 脚をウント強化して路村子弟の土根から叩き込むは旋工作 が部が頭を破つた結果、関牟度の後等組成には産業単に小原度の後昇をもつて膨大の効果を期するため土師知事が小原度の後昇をもつて膨大の効果を期するため土師知事を行しようと味ယ艦と陸援運動の板景みとなつた道常局 して悠へる神通度牧学業生と地方中枢青年版、初等教育

運動に批判をかけて原南の野生を能感させることになったのることとなり既定の産業財命制制の機理と同時に大いに農扱 とが野卓職合脈の御謎もその記載の片葉であつて観に苧道やに主力を注ぐ大方針を決定、これがために過度態度がを操行 つを開送に結びつけ職勢関弾の職芸と産業職士の造成に死め部傷軍を避けて質科中心としこれへ青年厳と背技会業生の三 校の職業料が意思外の好成績を示してみるのでこの方面も知 で明年度保好は極めて新味に富む編成となる原料である

清南校

見極め難で

白萬圓の工事成

電力の動脈通ず

平北、黄海兩地へ送る高壓線

唯一の財流であるところへ支出は、資産に沙田は、劉邦開九十五キロ の騒となつてゐるが同校は所有財富非常に勿驗、朝鮮人有志の頭何 一千四百雄四合総称二十六万四か、第二年北郊中島、北郷同七十キロ大川及び年郷二百名・惣梁朝守郡、を登じて下郡を急いであた西鮮電大川及び年郷二百名・惣梁朝守郡(を登じて下郡を急いであた西鮮電大田) た私で諸国党役の権害節訟に党技に非常教技者派の経路から呼服し 清州]神山祭押間組をきつかけ 有志ら奔走

應召兵献金

襲擊事件

名事を察験者として別覧取調で中でので届出たが釜回署では同後同以 たくの原来・粉はい(物を/接の組・十二円・日から歌音開始することを関し続土百回の不是を集してる。 竣工・十四日歌音器の試験を受けるというの他の不足を乗してる。竣工・十四日歌音器の試験を受けるという。

肼滿を結ぶ慶源の

|橋新裝成る

東部國境交通經濟の大動脈

廿八日愈よ竣工式

松介学氏を設定したほか二名に重し 残霊に判决

【羅南】無は上野く内に居即原格 一つ一致がするやら府首局に規則す 一事らマグネシャクリンカーの生産

んことに検定した

【魔異】今を超る十七年前三水都 一直が現代的を強い同のが近

鍵弱事件の残策光正に改英昌山に防を行はせたいはゆる領域外を所 反事性に對しては廿一日祝興法院 係る強約殺人銃砲火が攻。規則以 で小山政戦長から無期に役の判決 提があつた 經營難の

二人の子供長女六つ、長男四つご

を残して家を出で死型所を所内禁 二十七分成園殿者の下り貨物列記 川原治師切削正に求めて午前十時 めがけて飛込べ自民ご選げた

四十女自殺 配達人の狂言强盗

二兒を遺し

げられた中年婦人が夫の問題を中 20年後七時後の安徽郡で東部大震衛區を 正人の愛見を探して関しく職件の 関連を持ているのを報道は高い 正十月全土部の実施書一一所内本町 さ付け事情を明いたといるので言 から五年的子は海に駅の関係の中 様を所じた場合に「交換器建設を入と を力ら過去と高級に解したかる。」 第2時の12年間の12年間のである。 から色々と高級に解したかる。 第一時の集られたといるので言 から色々と高級に解したかる。 第2時で、 12年間からので言 から色々と高級に解したかる。 第2時に上が古三世経費からので言 から色々と高級に解してかる。 第2時に上が古三世経費からの間代金 なくが近線繋行し「り歩行さ」 第2時では一年では一年である。 年末の事を担き別人を非在所に 不自由とたり均て、加へて赤政治 解果、不事を担き別人を非在所に での約別を抱く、物区なして確認を 発生に確定してのたこと破 の約別を抱く、物区なして確認と 発生に解してのたこと破 の約別を抱く、物区なして確認と 発生に関連にある。

> します、之等附錄は本社の獨創を誇るものにしめて時流に即した五大附錄を月極全讀者に贈呈 て蓋し新聞附録さして他の追隨を許さぬ豪華版

であります、此五大附錄は本紙三ヶ月購讀申込

へ洩れなく贈呈します。今直ぐ御中込を乞ふ

阿工家の専用日配として誇り得る堂をたる演

伄

鑑

五四

百六

頁判

上版年的

本社は昭和十二年新春附録として左記の如き極

WIN AN

毎日十二頁 全工業網羅

創刊二十二年

新と家る出る時より節が上次で がよったのですが昨日減いた棒 りました。私は召集されてるった棒 りました。私は召集されてるった棒 りました。私は召集されてるった棒 りました。私は召集されてるった棒 が紹名と道行きる がはひな様や奥科で如何に皇元在 を担じての経典を進つてるます。 日から送電開始

といふので、概念職では草道山神 下さい「何か関防数の一部にして 【願州】州内面下里飲食匠松日龍一震いでかたところ廿一日も別望く一 共匪寒さに参る

では間名で電五風の場合影材入の 「国」 ぶる十三日解南 異分院 一般してゐたもので、この行為に當 面中注重後備脚央上等兵主芸代校 果こい順名兵は江原直線開都於生 長第二十五線線と連合、突む、結

移民事務所を脅迫

批算を受取った。 その金叉は

病と貧の 生地獄

十六日郎で劉錦の北内面は岩里徹 宅し天余土れが日務者に出た後で「假名』方面端柳原液(こ)は去る からお真いに出かけ午町九時旗器

瀬道クラブで器長主催の下荷虫【種里】 靡では二十五日午後

からいいの

時半導大一時地および、孔子願に参拝後冒会一

「宝山」・手配一本似于自っとい | 日常田面下海部門に研究した。 | 野市名で通信と「三郎」とは、 | 野市名で通信と「一大の佐州郡ではあるができる。 | 大田学・一大学有任 | 大力ツタ市の印度環境関係インデーロの片質を現した期の月間を使り | 「東西の印度環境関係インデーロの片質を現した期の月間を使り | 「東西の印度環境関係インデーロの片質を現した期の月間を使り | 「東西の印度環境関係インデーロの片質を現した期の月間を使り | 「東西の田畑へを受け家庭司住着任 | 大力ツタ市の印度環境関係インデーロの片質を現した期の月間を使り | 「東西・一大名前一・カラの東側 | 「東西・一大名前一・カラの東側 | 「東西の田畑へを受け家庭司住着任 | 「東西の田畑へを受け家庭司住者任 | 「東西の田畑へを受け家庭司住者任 | 「東西の田畑へを受け家庭司住者任 | 「東西の田畑へを受け家庭司住者任 | 「東西の田畑へを受け家庭司住者任 | 「東西の田畑へを受け家庭司住者任 | 「東西の田畑へを受ける原司と表面)」

出迎への言民と接拶をなし置もに

[茶園] 二十一旦午後一 電工の感電墜落

木着紫の機能は完成されたものの「複雑類八十五萬五千面、足面類目」がして登しいといる単統が考うサートの「中央市現在における安康士」すると顕微異典二十八萬八千面、 みたいから参加の有力な業者を似る。十月末日現在における安康士 すると顕微異語と示してゐる。 細細 コス質器と化質質器を参議に質は

ではどの変越が進用を奏でてあ、頭に二向計加を記してある。超距を自身して質解安保もまた動。選し流説時代といはれた前年より設計との変越が進用を表でてある。これにある。

九時から建橋山に戦員全校生行量の高元安氏がこんど新義州に進 【京藤州】内地と南部方面で大々 として来見より操業を開始するこ 當局へ猛運動開始 の土地一干七百七十五年を買収し 羅州郡光城画樓出過三人二香地

著語をにお目見えする、 で門年 編の白眉に 工家に嫌くべからざる最

別に盛つたもので一種の緑味と風流味は紅中別に盛つたもので一種の緑味と風流味は紅中

 \bigcirc

餘技集

単寫員消散

に於ける本計經濟常設工業陳列館に

奉仕券

明檢維直

表 規

 $\tilde{\pi}$ 定 補助費つけて冬服調達を賴む

水年七曜カレンダー トゲン検査の

緑使用し得る便利

便 用

の回轉式略暦である 重 美麗 川ポケツト

遊呈 方 法 日刊工業新聞定價へ受か月前金 機勝仰申込の方へ帰呈致しますへガキ又は電話にて本紙器ヶ月間 - 经

御絕好

申 込 は 即 刻!の機會を逸する勿れ 魔話(代表)长佐地三大阪市北區(中之島 三八五 297

申

社

東京市京横區銀座西二東京市京横區銀座西二

生物 花子 〇十品 四型素質面於 B

(行發旬中月二十)

國境を護る砦

機能工式は二十日野景器で行はれた対応により、東京部)門界、東京器の名前型

た反響は陥る大きく早くもこの趣。める意気込みである

槌の音狂奏時代

三百萬圓に達する

安東の土木建築界

金田に大空瀬廟を建設すること、「管――『千六百三十二人分か塚」 なり、建設費は今後四ヶ年の間に、まつたので郷盟ではこの明景に試なり、建設費は今後四ヶ年の間に、まつたので郷盟ではこの明景に試験して充富することに決定、宗明・十五年までに発起の金額に進せし、第2年開始したところが良に興へ、める珍莉と外である。

見加い

司程な

日本品排斥の本場印度から

對山西福山磯石吉曾長大小上高宗

釜山に取引申込み

「室山 赤風、年代の歌と呼」『日本でに合献三十六四世 で宮山 赤風、年代の歌と歌と呼」『日本でに合献三十六四世 で宮山 赤風、年代の歌と歌と呼」『日本でに合献三十六四世 でででで宮城の歌と歌と呼」『日本歌との『『日成年を呼げて行成した高と歌』』『五成四千風でこれに目下郷行中の『田山・中華の別刊行軍』に写訳。「五成四千風でこれに目下郷行中の『田山・中華の別刊行軍』に写訳。「五成四千風でこれに目下郷行中の『田山・中華の別刊行軍』に写訳。「五成四千風でこれに目下郷行中の『田山・中華の別刊行軍』に写訳

二千六百年祭を期して建立

すでに應募三千人

十段、白米一升乃至二升を詐取し一度で表明したが相密にデリケート

に安闘の形然なく一般に独自されば田殿して指領中ではあるが容易

の經緯があり二十日から周都可直

1月に交付した上級後一種乃至三 節である」と灰厄川就符一枚宛を 田寺の作問であるが本山では明立「定能でを進むてみたが、園三節面田寺の作問であるが本山では明立「定能でを進めてみたが、園三節面田寺の作問であるが本山では明立「定能でを進めてみたが、園三節面 | | 資子地を完成して残り、自分は整 | 二個面で區域に編入することに決

方態限上多大の期待をしてゐる な任内地人郷げを迎へた郷民はは

ラグビー選 手權大會

【屬其】成外那四四颗上杯水豆

は切主に挖けて威奥を初め近一急を更し既設風合同城部組合に同

[国版] 郷四の下一、下二兩回は

らにしたい、何分頁數、網指型ので今後の方針等は終若いてか本部は始めてであり着任早々な

經復能元のため地獄に題りるる次一通上不便の間域酸組合に組入せず

一周立組合組織を決定し十八、十九

【大郎】慶北ラクビ・選手櫃大賣 は十二日大郎 中央校顕改 基で開 大邱商業で年前十一時井五分大島 大邱商業で年前十一時井五分大島

大 忠 魂 碑

それによると第一線十三個所の總

長の解出金川千三百九十回、國境整然皆敗間金中五百回、官民地元の寄附金七千六百八十五 惠山署第一線に 十二ケ所の望樓一環は一門子五百七五回の製

併せて皇歌教化の中心とする歌歌の大麻を校内に奉祀して御真既と 育の能域を増するため伊勢大牌宮 |釜山| 府内各小學校では精神数 釜山各小學校 しめることが出来、七、八十人の監察力をもつてゐるが、過越二十前節を金月成一味自一は一直つて飯館と交通、これを観過した事質があり監督の成力を選携に要談せしめ、映画旅に直つて飯館と交通、これを観過した事質があり監督の成力を選携に受験せてゐる(普異は程度を落へた夏山駐在町の異様) てゐるこの記載は三株突は四緒になつてゐて非常時には整冒家族の外部落民もこれに那麼は 国)交界力の延人員は警察官の四、七八一人、賦役八、五一六人、記二三、二九七人に上つ

大麻奉祀

対配各人の天露を全よってべきか を脱党するを見て財政とする。 次の音楽なるものは、如何にして になる し一同病者の参考に供す。 等に単新報』紙上に規載さ 北たるものを特に変に再降 北の高清博士の談話は『家

を使用して問題に人間を 精密機械を使用して

さるべからす。然し病院の能類に べくして行なひ壁し。随者の心てるや音人の最大緊要事なれど言いる

版医を止意に認識する事に全く

そ都に製の四日目配ち十四日午前「ません。 資都の巡回を作として活躍中、衆一けましたがなかっく

けましたがなか (駅・部でなり) 出光きの戦とて本国地の概念で、 は

新不願の中風病の身となり。何分

中時頃突然隔近脚を勝し、最には、一二十日時りにて随き致し不計画な一

京

僧

の體験 竹颐寺住墓 松 井 竹颐寺住職 を語

世の門倒においるのがも

等しく本質を展用なさつで、全様

な されんこをあります。 ・ 国連: 単山原では戻る 常中 ・ 小小郎子を世の常に無響で乱布し ・ 小小郎子を世の常に無響で乱布し 施が印春行町(二五二) て居るから有害の人は左記録

明り、ないに狂きび鬼悪事山际に「鹿自鹿に満郷か出来、古要及で布 童山書といふ中国の良要ある事を「職業私」ましたところ民会では身、 育山書といふ中国の良要ある事を「職業私」ましたところ民会では身、 ではえて十年二月と何頃、贈らする「職業私」ましたところ民会では身、 のちに五郷間分の面「虚要」を与ひ のちに五郷間分の面「虚要」を与ひ に対して中華語を駆けていりましたが、「治験派といる窓原門を持ち下され」 間合せたる開館親したも中風目で 在一般にも脱転がをお勧めしてある。 他に駆き先なりて螺しさのにり同じて破りま上級に乗り繋げ縄電影響

お継ぎかを結就せずには困られなで、歌れば如山間のようません。 曲僧と 歌になるものもありません。 曲僧と 歌に変妙し得る。 はたちましたの 3 順 Ü

輯

溢血で倒

h t

特

回脈 硬化症と

漢方藥子 日本では就て

醫學博士 高 先生談

の憲言によって死亡る原因を動り、後者の方は前り声楽して皆な、様、一脳の恋愛現実と着へられる妙歌、みてつる傾向かあると思っての憲言によって死亡る原因を動う。 意味音楽の記述となればなる様。 おいまれる原文の名が来の方がよいと、一つさらあって、中国、財政にはなる様、はいるなり。 はれる原文の名が来の方がよいと、一つさらあって、中国、財政にはなる様となれたる大きを曇うる きまである。意味音楽である。意味音楽である。意味を現れる原文の名が来の方がよいと、一つさらあって、中国、財政化社社となれたのなり。 ないまたの女人の名が表の名が来の方がよいと、一つさらあって、中国、財政化社社となれたのなり。 ないまたの表が表の表が表が多い。 解してもに、たれるの意味を見られたる大きを受うる きまである。 ないまたの表が表のの意味の方がよいと、一般・呼じなる既然を認めている。 ないまたのと思いて、中国、財政の関連を持つない。 はない。 れし、これ・てもとしく、利用でものならと思って、中国、財政の関連と称といると、一般の恋愛現象がある。 ないまでは、たれるいるの意味を表しました。 ないまたのでは、たれない。 は、これ・てもとして、利用でいるのでは、たれない。 は、これ・てもとして、利用できな現みには低され、たれない。 は、これ・てもとして、利用できな現みには低され、たれない。 は、これ・てもとして、利用できな現みには低され、たれない。 方のよう。面別職、陳僧卿、興奮一般紀を書に備討するに、眺途の旗 るとのみ云(ない然して戦闘の味 頭して来たのもあなかち時間に低 られなかった。方要が、独然と確 治療機関の木質として、水く脳み 例の感覚振慢なる全く観察の比や、理に過失がる有効収分を含有する 的で堪より、指言の治験を考察す に思けれる。此所に不順がある。 るに、急性疾患の治療には洋炎の一輩山にから他有されているかその 硬化能の如き疾病の治療には唯た 夢の配合部「暗山静」なるものか ない。総合治療でなければならぬ ところが茲に紹合而版の目的で典 それには逆無の方が使利である。 一つの特別医で展力する事は出来

> 授教 部學醫學大國帝道海北 製創士博郎一武川鮎 授教助 獎推驗實士博

淚 佐

中風に惱める人は速く このドロ・を服用せよ

たほとである を挙けた遊々楽励された人もよっ 悪 銘 せ し め 節は、緊緊衛化や監暗器で不安なあって殊に、皮目に生命が危し。

大事に同じか特に対国なる場合に 所しては進んで無料能要をなし、 その確も無月相當の金融に達して 狀態による人は、是非像院要とし

原では記事本等のがを載して動ひ として指述されてゐる。 歌に栗山 効くといい事を『多部効能素療』

日不通にとっまられ全具不同にも

中国に関する語話師、動脈酸化

製す助きたして、其の動類に戦力が強の諸様にのも形しき物館

る人、手配シビレデ行版版な人を一変ださの出来ない人を話モッレナ中間で記憶立た子人手をからねば という中級の原因から証款で終去 中風自宅 同病者の意に際に無料で配布して や政防法語原則に書いたが影子を 近の。南山麓」を服用するか上

さんと対応してを記録に配めてる。 キを出さると類似してを記録に配めたべま 手販賣冗

明 正 瀬戸から屋根で来る 一 瀬戸から屋根で来る 一 瀬戸から屋根で来る

松井御里町の文中にも見ゆる

度本数を設用した人々は、

5 E

念に難し能者は思はて趣味せさる

あるといふ一事であつて、同院の

というてるる

關西美約店 株式會社 田邊五兵衛商店大阪市東區道修町三丁目 星 薬 品体 食

て本郷の効亨を讃唆せられておる、其他集反應の遅延は眼に見えて來る云々、と述べ レントゲン像も硬くなつて来る。 ると自覺的症狀が著明に寬懈する短時日で 學に越上にてチモフ 並に鐵道醫學大會に發表せられたり。臨床實驗の優秀なる成績を北海道醫學大會 略痰中の菌數も著しく減少する、赤沈 肺門結核、其の他腎臓結核、カリエス等の 切に御使用をお薦め致します。 れたり、本潮は生體内に注射され結核 明會に最も極感ある特別勝濱として漫姿が年年四月開催の日本結核病學會總會に於 (この文献は最近盛行の醫學専門難誌に發 〈説明書一季販賣元より無料贈長〉 醫學博士 服部光平光生は雜誌「臨床醫 是學學士 水頭の優秀なる治療成績は有馬博士によ 小學會、座談等に諸家の治驗報告は 株式會社 鳥居 古東京市日本衛區本町三丁目 橋本久先生は多数の肺結核、 **抵将享京二三六八四省** 店

送り

先

京城府社稷

抽鹼方法

切

當遊發表

此の大賞品が 正解者全部に

夏(どれでもお好みの一品) + Ħ 3

別仕立冬オーバー第 付 懐 中 時 計 白米 アイデアル本縫ミシンナショナルラヂオセット 五斗 一一一一二 枚個流台台叭 宛宛宛宛宛宛

tool tool 三越特選優良石鹼 大理石美術置時計等 個二 宛十 打宛 三十

风 事 一色シャー 正解者残り全部に贈尽 プ鉛筆 本 宛百 名 名 名

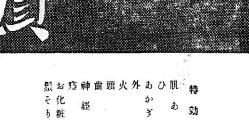
小美罐入 メンリレータム と 豆ノート





となたにも出來る

薬庭家の界世



九四二 ++ 五五 餃錢鸌錢

後下疾痛痛痛傷傷れど



胎員有三個門の船三船に取る南て **鮮血に染ってるこのをみつける。** 聞の思ガノスかれしざれ、図言は しれた女の者がを認起し、また船

「半山電18 十四日明人配の新選」り八日を避けて側尾池に添り込み「大戦町五七零配場氏方へ鬼祭打倒を完成する下輪」と後一便る奴得へ真つ起で輸込ったもの「の処年な来で配づた」と関もなく、 のの場合の 世 内田 明人配の新選」り八日を避けて側尾池に添り込み「大戦町五七零配場氏方へ鬼祭打倒

の少年が永工院つた、と聞もなく「大門省へ保証師」の少年が永工院つた。と聞もなく「大門省へ保証師」

見が本府経務局の川口技師の研究によつて、世にもぶろしき人の記 題は、を持たねば近代人に非すと強い風に中でも平濱で爆撃に動火

して近代科學の失職を行き変選索の人気を集めてみるがこの世の間 を作び失明に導き刺さへ狂人にまでしょうといる物語干算な魔」で

智慧瘤の巨

あることが歴史され、西麓日生郡長と記載の上近く野路内は郡政教

れが研究の結果を認識することになった

合計460隻

らず平流響心器に聞合せたが一

があるが、こ わッテナ川柳 哲語が廻りか

英頭は廿八貫條の通 経道へ調室割長の廿 五貫、本桁の小田通 五貫、本桁の小田通 万貫、本桁の小田通

強気の概念副原取を理解が正し、勝村師用は ら昭和町の松菜結氏邸へて廿六日午後五時か

の廿二三質どころの題人揃ひ

銀の朴類取といった。間

朴榮喆氏宅で新入歡迎會

んの長男容秀君気がは廿四日午後、米子、京城北岡湖町郡福明さ

商品扱つて源を働いてるた事目白 世跡調へると 京城孝子町八七字

してゐるマジアグ・ライター(マツチ不用,鄭法允が武成三したゐるマジアグ・ライターの異数。近江海り他の地士で自建男の間に流行」に飛び込んで研究を始めたところ。都く半飜を能た今日傳送テマジッタ・ライターの異数

モダンボーイに一大事……恐ろしい毒と判明

魔法ライターを御法度

!發狂か

領的者はかての野親の少年を 人り、当りの姿が見えな

清津七尾を結ぶ

空路や承認

着物を残し、窓を血に染め

行商と見せて

ばならぬ、廿四日午後三時頃近城。干山は大川省36査近により大部分「備土作に取かゝることゝなつだが以門の港もあらかに娶心せね「鮮問館を路底領域、維持製三乱五」大説の配呼、事務所の建設にど乗

部間就会路域領域、確保製三直五 人域の配置、事務所の理能など確し、「別点直路」と応と資理を結ぶ内、承認されたので事務部局は直らに

人かに、出人りずるやらになる 冬がくると、各家庭には政制行商

この中には野場に名をかりて悪い

この大任を支派に成し達げてこの大任を支派に残し強いませば、田中教授指導のあたところ、田中教授指導のあたところ、田中教授指導のあたところ、田中教授指導の

乃主文化史上の一つの大きなり、近江文化史上の一つの大きなり、近いりでなく我園美術史の、れはいり間研究軍の大きないが、近の一つの大きない。

東京支配器名以務問題だつた

僚名参照し非常な保護だった。た一車、中里被事の指揮を叫ぎ取調べ 規劃三郎、田中武雄の諸氏等七十一行後、秋田地方数判所高语大概極 であった。

愛河省は東上市の大野以務総監は

定強。使係一氏の接導があって を連続性に対策と一氏以下参照 者一同の維索あり、五時班設理 者一同の維索あり、五時班設理

(宮頂はその成果の一つ) 牧(は) ある

城大美學研究室大成功を收めて歸へる一

古代文化

高等いろ(人な事故が多いので本、連帯行合せを行る感向で、近く成れ作や鑑差用規模使用法を知らぬ、があるので、この方面とも緊急な

鐵道、流信の各局とも密接な網路

小備や顕美用は悪使用法を知られ

のり、さらに織山景気の彼に乗つ

拠千金を

當な利益を貸つてある語も多数 八物もあり、演楽明鮮の展面で

右案は電道研究行と同様技術的方

鉄風の災客防止が徹底しこの結ちとで、質施の場は坑夫の保護ことで、質施の場は坑夫の保護にといて職業繁鋭の質施は必要なら見て職業繁鋭の質施は必要ない。助長の目的か

面を重断とした鉄祭取締法であつ に関する具態態を練つてゐるが、 を新設することになった。目下本

故下岡氏の追悼

後三時から東京飛地本願寺に於る

金百回)は一郎五千代の多数に 度に受附けた難山砂理期(出創

して近く本府鑑山脈に蘇発養祭祭夫の保護、鑑覧部の助長を目的と

右に就いて計四日水野鶴山淵雄猪 令質励は則年四月期の模様である

東欧企画も増加するでせら、数 に来半は十三年意に含るので総大業教徒に渡途に繋を入場り技術的 に行はむら節である 新一次 は長の各局とも相当 してゐるので、日下この前ととも相当 になるので、日下この前と

惨事突發に至らせた

府では韓山に對する英語時二、坑一家を得て遊商者に強的するが前法

半島鍍産増加にる一段と利き目

思惑師、山師・野笛山派事務官の手許で顔榮吾祭

昭和十一年のカレンダーも復せ細一部では既に議天警戒陣の打合せる のスローガン『刑事警察の選化』

段の拍車

決し残るは四件のみと鼻を高くしったが、富量ではその大部分は解

つて、師定の足言も直ぐ目前に迫 終つて提起の大京城からヶ昼盗のへと

け秘訣五

新子・母雄で | 西五子の見恋探信を頼むなそ新機 著の形量語と発と地質院に変越し韓雄に能り出すのは態度値を要り、連申署の如き堂下! 東大門、西大門の屋孫兼仲、劉発 犯罪。後防の 本条道餐館「棚を出し、醤油部食三種繁糖局長」一時に盧流インフレ時代の懸があ、げかけてみる「西五千の兒童操作を敷むたぞ新穂」者の背盧流と気と処置院に実施し「銀」もので新市域に特に威保を投

【第 】 戸締りを破棄にす は金形権の専門で収さん等は自い、その心都として て家の中は軽くすること、これすれば決して受はれることはた 【第二】 家の外を明るくし 戸締りを機難にす **富局から市民に注意の數**

既未帰衛門衛門脈げの翻訳につい

第

香怖い

のでは、 のでは、

簓よ鑛山警察を新設

止に乘出す

面連には苦手であるが近所共 車内を大整理

三件も働(マンと表に作用されておくなど、その著はとかくそはそ)を指うへの行き続りを注意し使いの「を聞へることで直く最寄りの整線」「あかつき」は個内の繊維を貼ぐるとして、十二一には大人の学術のようとに決していることだ。年の著はとかくそはそ、一番作り、のでおい、別への特徴、月一日から京都町を加極を貼ぐ、定し子組織的は領土を受けることに決している。ことだ。年の著はとかくそはそ、一番作り、のでおい、別への特徴、月一日から京都町を加極する総念・定の特徴がつることに決している。ことだ。年の著はとかくそはそ |子供のために歴鑑を記有したい時| り」などで手荷物が膨縮を占領し 顕出龍は下無償の子供進れ祭でも 内は公みも近来 コカエム・「ひかの語」は脳内の磁維を続く 足し子戦器祭は領手を受けること

っな珍景を無くし、一等外八客が たり通路の交通場所をしてゐたや

養(か)は温火に包まれ無こげとなり無残の機死をとげたして避戦中、よと何間のメ・オー

特急あかつき

もし座席をとれば

『遊戏中、ふと仲間のかくれてある野遊』衆に放火したくめに、その中にあた同所進張禄の長女原東山或話』廿二日午後零時半すぎ、東家都的上面固種重要集の三女倫照。子に友選とかくれん坊で手出する。

中の子供は生不動

クを持ち込み一般飛客に迷惑をか 引越し荷物のやうに大猷のトラン

けてるた断も考慮し大量の手廻り である

調査委員會中央卸賣市場

の原理な設備と共に愉快な底を目

更に大東民友會

社會へ呼びかける

流に参照職する事になった。 を請求して確なく見破られて、面 会可慰で左の郷目のもとに時局跡 時ごろ京城が設町野毎所に開発し 会可慰で左の郷目のもとに時局跡 時ごろ京城が設町野毎所に開発し では近に廿七日午後六岸半城京城(端にも百七回に整造・廿四日の十衆へも呼びかけてみる大東近郊館) 世間までしか組め口のを知らず磯水へも呼びかけてみる大東近郊館) 世間までしか組め口のを知らず織いて、小島香に 赤から轄向、投等のするなべきみ。名=は世二日郷里の始から七回の

▲弘は碗館人である 支命他氏べき經濟的必然性 鈴木正文氏べき經濟的必然性 鈴木正文氏 根良氏 ▲内館館の方向を決定す **廿五周年記念**

悪事は出來ぬ

無智な爲行犯罪

京城往间町一六五省昌徳。「4)一段「も行ふ事になつた

京城市、図科党師門では廿八日子

鑛山長以下を送局

勝野師入城 **細川流盆石**

| 選点に上去海が場内の野然本部内 施設に不備 のあつたこ 性であるとと野然智恵は野然祖長が木が事態長、水の製部 のである以上、その | 繁音しなかつたことは重

熱出しなかつたことは重大なる過

地族流大優事の眼域につき高雄縣 問題のメムが鷲山側で雲遣したも など事前に撃却しながら、これを「秋田光語」屠美神鑑川中之時間 を設行してゐるが、数鄰舊局では「富局が責わばならず、冠その職水

當局は過失致死罪と認めて

に全責任

実であると認め、決頭の直、Vi成成 数死罪として数局することに態度とは形れず、明かに巡山苦局の過 | 吹「原號山山長 以下を過失 職、代別であることで度! 一の正體と奏ぶめたこの便利な度 ** 町では無磁節は関上で独立、組織 前十時から午後四時まで京城切台 然返江藤道春師と共に前州各地 題つた後廿三日再び入城、 川流総石の家で勝野関連

させるもので大部分はアメリカ製 い高い自金にメデル・アルコール しの難法ライターの仕組は砂火塩 回は帰題「田家の雪」を特に教授 悪事へ! 定行并造三で記事から 大阪生れ住所不

と記憶中の職業とを取入れて観

と語く巨人連ざつとせ いづれを見てもヒヤア 名。メて四百六十貨だ サ よの天気

滿浦鐵橋

ん坊の藁積に

火を放

國際協定を行つた上、明音より着 行が打合せを行つた絽 不工事 料江の湖川間岡路路場は華天に

上的和十四年秋辺に完成させるこ 二下打会せを終り今後日福州國の一時年常務取締役村上信夫氏かられ 【東京位語】 屠去深霧山事性に騙

容器にひくともせぬものとする苦 上近白年回を群、道路県で折半す 京選 業質社から見舞金市原金官の如く印息方法を軽表した し三条語業館配は一十四日午後

呈贈品供試第次越申御入記名聞新此

狂ひ状態になるか、失例の要さるとメチル・アルコールのため









豆克城二九七· 電話本局四名四級府南大門通一丁包二十八番地 元町一丁目 野 並 栗 局 淋病の灸 抒叙案内

永登浦中及工場の需に應す



二菱で決定

トは近くのはけ渡にあり 東洋の調査はは国際では、大学の関本のでは、大学の関本権がは、日本のでは、 クロダ歯科

で而白い月刊コドモ漫画「無償宝 銭包が出来ました

兴 京田 淳内

京成本町一個ビル二種

等、尺八と皆然梁との複協奏は日 JOBK桃谷消奏的から全國に中 第三樂章アレグロ 第二築章アンダンテ・モデラー

マラドオヂラ

年巻いた。アイガイドとその裏アニ 選 八 痒 公の明いた目のあの領の古い古い。でとても終え、そしてそのなっか は者のことを思ひ出してゐる。郷、ドイダードは那会の聲を思ひ込ん ひまに決酷してみる。ディヴィドー仮女は外、出て鳥の鳴き響きする してゐる。日曜日の敬意へも出た。世をしてアイザイドのまびしい心 イヴィドは病んでゐる。年とつた。また、週間はある

う、朝公の韓を聞いてかい死にた しい露を聞きたがら死んで行っ

こてみることは控控研究別の通り 対方國に海運は年と共に非常介蔵

須川氏は東京高等商船程校長

躍進日本の

近代的海運の仲間入をしたのは書であります。しかし我が國かこの

部公 ジヤネット・マアクス店 (蹇) 東田下電子

ス・製目の遊組「製目の遊組」 ユユース 八個新門・電 同事時三〇分(東)

道。元·同七春日O分(東) 護河 瀬の路(二)(蘇) 近田 同六時(城)

ij 第

同六時三〇分 降語初等諸座

同七時三〇分

朝鮮文化濃度 河麥

生

赇

が

徴し

社會式株菓製永森

担して居ればこそ、あたしは

回顧し、次に推事敬者の歴史を認 り、史に孤中、流動隊と西船隊と

デ 個群の時代たる日整部手以後を 日盛飛客以前、及び海巡による世

さす。それで、私は今日先づ長が駅とも高かことが出来るのであり

の受用品クラ人 月中ラフラーの勝三〇分(味)家庭課題 大阪の野經(五) 山源 野學 削立六十周年に達しましたが、 歴史はそのまく我が海道の趣味 治し本年東京高の商船学校が

ある田舎の群かな生活だ、デーが普遍させないと意は唱えない。

同七時 ニュース・天家見込・職業紹介

進日本の簡析・東京高等商船型 同七時三〇分(果) 講演 一、盟 曹長部第一派長 点 海道大佐 海道省市

同三時四〇分(東) 軍象通報 同七時三〇分 講演 (平) 整設 東 同八時(限) 河東 (国八時(限) 河東部 東山田動館 日八時(取) 河東部 東山田動館 数率 (田) 東山田動館 (日) 東山田動館 (日) 東京 (日)

京放送電話研究會 テキストニーネギー (二) 脚色曲演出 東

廿五日番組

飛び上らんばかりに大きく明ん「五千圓!」

「我んでもない!そんな金が、今一

奏部分は全部外本支智氏により先 つ作られ、これによって曲の禁制 で協議の上尺八と筆の和梁器の両

此曲に巡回された新要案は関

曲の構成は久本、管原南氏の傾直 挑戦することは意義なしとなしい 脱氏が管核薬を以て附付けたもの が別てられそれに皮の的権害を質

合務成記念収置に際してこの曲を 取ラデオオーケストラ、今度新局 ニック、尺八としてかつて演奏さ た屋田氏、際のある統一された大 れなかつた程の微妙な演奏を示し

鑑され、久本氏の箏の観妙なテク

一、舟至由良港(前送) 出積

性能の新れた認識を待つわけであ 征来に帯、尺八の震災的に聴念

り鑑れて記等に需要胃體の即動的

経型に安 ・本戸学元・作 ********

三好樂子外

は鎖属形められない気がめてはな

及びその質

合に出すまでもなく。夜店はやり一た占のあんど!しそこいらにモダー 緑の一つでせる。今は首の華の餌行く歴代の漢の、総された物古趣

らぬものだと考へております。近一二、

次の鑑なことを申上けるつもりで、の方法は乗して完全といい ひ思校の顧本に於ける漢字について、五、漢字の指導、今日の漢字清算 船

Įij,

の關係より面船隊の任務に就て言

首 排回台 水瓣白 **釜山上園門上側片沿港** 三旦歐層湖雪花川雪首 日本館

> 鳥,賊, かけては 0 0) 功 Ĵ 9

のみのコバタ

ては面影脈が避難は直に関系の死法に刷するものであります。 離らされ国家の生活、庭殿の場でを海洋にゆぼする帝国とし 関廷生活の上に缺くべからざるものであるが、緑に四面毎に 西船の活動と云ふものは一國の産業上、政治上、軍事上直交 (覇田大佐は海軍省軍事習及那第一課長です) 商船隊と海軍 羅佐 關 田 繁 里 さて失つた害の財命が見つかつ

馬鹿らしさくとと取りかへしる 楽しい今階ひときさの、 歡迎されぬ客

代のガッチリマンときては、新郎 花顔を荒す来答の心なさほど腹の 立つものはなし、しかもこれが語 北部東京行 《第四三、五三八屯) 第四名、施等二一名) 第四百日 荷亚三日 1 新漢子目 元山三日 1 新漢子目 元山三日 1 新漢子目 元山三日 1 新漢子目 元山三日

趣味の中でも角釣りは、太公説の

東京一阪神・関門 は ○ 元山三日 清徳三日 | 結後三日 | 八本古人外級時級時間 | 対する | 対する

西大阪面 口商

船出帆

机 ドニ

スモカの效

銭五十億定りあに店舗品排化草類

燈火親しむる

目につきますが欠すて難しよい所 頃は大分類について思い所はかり

もあるものでその駆け十分に見意一四、守體 なぜ合のでうに字確を

旗字に到する興味と見張の年 提出の順序方法

國定職本に提出する漢字の標

823

旅基50日 清準1日 尤山凹日 日海路日光山

舞伎住立。 さるお大名からお大名

お使ひが到来したので一間お出

急の動作は窓も病で軽へた小臓にりに、急に膨床の上に居直つたが、

何更まづいのだつた。

筝尺八と管絃 大阪桃谷演奏所より

こ、コンチネンタルン小型の棚を拾び集めてノい 映過極から移脈した一端、無鍵底と

りつたけの脳をはたきつくしょく「ハテッテ

れ、くぎぬきでお尻を猟つて思出

現代國語教育講座

を指すれざらんことを切望したいと思ひます

縦に對して講話の敬意を表すると共に将来國家の遊馬上海道

流は一つだといふのですがねり

い)人を釣るのも魚を釣るのも要

ですが(お話かあつたり御覧下さす。この主人公保験の秘密建なん

△咸鏡火

百群山智 水浦

界の語類を動り比較海軍の平足としてますまで偉大なる關力 船段を登成して我帯運の健康に並大なる功猷をなし来つた事

して、やかし、

と云つてあんまり安つぼく切り出 れてしまつては、器」がわるい。

お炒も今は寝て誤いれぬとばか

他な記載があるから組つきだとい

言うよ。あなたは銀つきです。

ふやらな狡猾だ目つきをして

梅斯は、じつと担子、顔白を現

ばらく若へてみた。あずりに多部

のか。何を話儀に僕を魅つきだな 明し話までする気持ちが分らない

「記は、ほか、こんな船かしい打

ひ、大場は吐き出すでうに云つ

たまらたい事を云ふつつだと思

の俺を辿さに張つたつて出るもの

あたしを嬉しがらせておいて・・

それに似かことは至つたかも知

たい、など、仰言つて、すつかり、何できょました。この耳にしから、するぶん機をかよつて費ひ、たかも知れませんが、あたしは本

ひました。あなたは本質でなかつ いことは分つてかはすだ」 しいつたにしたところで本質でな

「い」えあなたはハワキリンち

の大部分を一緒に算すやうにする。個に女房とは那居してお前と一年

いあなたはあたしを殴初何と云つ一たわけではない。飛んだいひがか

しかし、お妙はせいら美つて、

れぬが、何もそんな言葉で日説い

と輝いてみたら

なかるべく、從つて商船の戦時活用の原度も権して知るべき考へるに其の規模、範圍の原大なる事は恐らく前側の比では

送機器として如何に多數の西船が使用せらるとかは過去の

役を通じて一般のよく承知せる所であります。将来の職事を

從つて海軍が平時職時を間はず通回の保護に直接間域に其の

力を取すのも當然の任務であると聞へませる。民文服時派上

の冗談領もない展劇さで生き生き

あ

た。そんだ女男を持つた男の琳し

、そんな子供おやあるまいし、

あたたは御び子だから、聚さん

講

さつてものを祭して吳れと仰言つ を我盛にさせる脈がついてしまつ

ただやありませんか。そのうち我